

## ベニトンボを南あわじ市で撮影

武田 義明

ベニトンボ *Trithemis aurora* (Burmeister, 1839) を南あわじ市本庄ダム上流の新池で、2020年9月15日に撮影したので報告する (図1)。

ベニトンボは全長34～43mm、後翅長は24～31mmで、羽の基部に橙褐色斑を持つ。台湾以南、中国南部、東南アジアに分布する南方系の種である。日本では1954年に初めて鹿児島で発見されたが、1980年以降北上し、2000年代になると高知県、徳島県など四国各地で報告されるようになった。兵庫県では2016年に神戸市、2017年に淡路市、2019年に加西市で確認されている。今後温暖化に伴い北上する可能性がある。

### 参考文献

- 三浦喜太郎. 2019. ベニトンボを加西市で撮影. きべりはむし, 4(2): 64.
- 尾園暁・川島逸郎・二橋亮. 2012. 日本のトンボ. 文一出版.
- 豊崎勲・山田量崇・大原賢二. 2009. 徳島県におけるベニトンボの調査記録. 徳島県立博物館研究報告 19, 39-44.



図1 ベニトンボ. 2020年9月15日撮影

